

令和 2 年度 微小粒子状物質合同調査 調査計画（案）

1 調査概要

解析に当たっては、四季の全ての成分調査期間を対象とし、季節的な特徴に重点を置いて実施する。また、一年を通じて広範囲の地域で PM2.5 が高濃度となった事象については、その期間の大気常時監視データを用いて大気汚染状況を解析し、構成自治体間での情報の共有を図る。

なお、常時監視の成分分析は自治体ごとに実施されるため、共通標準試料を用いたデータ精度管理も併せて行う。

2 分析値の精度管理

＜精度管理試料の作成＞

項 目	試 料	作成する自治体	作成・配付時期
炭素成分及び WSOC	同一フィルター試料	東京都	10 月
イオン成分	標準溶液から調製した溶液試料	東京都	10 月
金属成分	標準溶液から調製した溶液試料	東京都	10 月

3 調査の推進に必要な物品等

本調査会議（連絡会）の予算

項 目		予算額(円)	備 考
事業費	調査費	180,000	精度管理試料、ろ紙ケース、送料
	講演会費	150,000	会場費、講師派遣費
	ホームページ管理費	90,000	自治体間におけるデータ等の情報共有
	学会エントリー費	2,000	
	小 計	422,000	
事務費		10,000	口座振込手数料等
予備費		299,833	
合 計		731,833	

※ 調査費内容：精度管理用試料（標準溶液、フィルター）、ポリビン、ペトリスライド、送料（精度管理用試料の配布）など

- ・分析用試薬や精度管理用試料は、担当する自治体で用意する。（昨年度と同様）
- ・共同分担をするための旅費等は各自治体で負担する。（昨年度と同様）

4 今後の調査会議の幹事の輪番

R2（東京都）、R3（埼玉県）、R4（神奈川県）、R5（千葉県）、R6（静岡県）、R7（山梨県）、R8（茨城県）、R9（群馬県）、R10（長野県）、R11（栃木県）以降輪番制を繰り返す。

なお、市は関東地方大気環境対策推進連絡会に入っていないため、輪番制には含めず。